

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人には様々な事業所があり、部署(グループホーム)としての理念は運営方針という形で、実際の業務の中のどの部分にあたるかがわかりにくい。	理念や方針・行動目標を実際の業務に照らし合わせ、グループホーム職員の理念の共有を図る。	①病院理念と基本方針の振り返り。 ②あつみの郷事業方針、グループホーム運営方針の振り返り。 ③職員として心がけること・行動目標の確認。 ④行動目標を達成するための話し合い。	12ヶ月
2	35	ホームとして避難の手順や誘導の工夫をしているが、避難訓練は年2回に留まっている。	定期的に避難訓練を実施することで、職員及び入居者様の避難経路確認や防災意識を高める。	①毎月レクリエーションの時間を利用し、避難訓練を実施する。 ②全職員が経験することで、必要物品や避難誘導手順等を理解する。 ③繰り返し訓練することで、入居者様の自助の意識と力を高める。	12ヶ月
3	19	ご家族へのアンケートの回収率が低下し、また、設問に対して「わからない」という回答が増えた。	回答しやすいようアンケートの内容を変更し、ご家族の意見を介護サービスや運営に反映し、より良いホームを目指す。	①設問の再確認をする。 ②ご家族の立場で回答しやすい内容に変更する。 ③アンケートは手渡しにて配布する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。